

「3法令の改定(改訂)を保育実践から語る」

日本保育学会では新たな取り組みとして会員の皆様や実践の現場の先生方に向けての研究集会を実施することとなりました。今回は関東地区の皆様を中心にご案内させていただきました。平成29年度改訂、平成30年実施の幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改定(改訂)及び実施が直前となり、保育現場では具体的な対応について検討に入る時を迎えています。そのような時期に、下記の通り、幼稚園・保育園・認定こども園の実践事例を提案していただき、対談や講演を通して改定(改訂)の具現化のために必要な保育の方向性などについて皆様で考える時間になることを願って企画いたしました。会員以外の方の参加も可能ですので、どうぞお誘い合わせの上、ご参加ください。なお、会場の関係で、定員になり次第締め切らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○日 時：平成30年2月11日(日)13時～17時

○会 場：お茶の水女子大学 講堂

<http://www.ocha.ac.jp/index.html>

東京都文京区大塚 2-1-1

○参加費：無料

○申し込み：裏面の必要事項を記入して、メールかFAXにてお申し込みください。

Mail: ywakatsuki@edu.tamagawa.ac.jp FAX 042-739-8060

企画 関東地区理事及び評議員

担当 玉川大学 若月芳浩

○予 定：

13:00～	開会の挨拶 副会長 戸田雅美 (東京家政大学教授・日本保育学会副会長) 研究集会の企画趣旨 若月芳浩 (玉川大学教授) 改訂についての概要 汐見稔幸 (白梅学園大学学長・日本保育学会会長)
13:30～14:45	実践提案 多摩川保育園(0～1歳) 文京区立お茶の水女子大学こども園(2～3歳) 江東区立元加賀幼稚園(4～5歳)
14:45～15:30	実践提案を受けての対談 提案者3名×汐見稔幸 司会：大豆生田啓友 (玉川大学・日本保育学会副会長)
15:30～16:30	講演 汐見稔幸
16:30～16:45	質疑応答
17:00	閉会